

学校名	本宮市立岩根小学校		校長名	佐藤 勇人		
住 所	本宮市岩根字下年神12		児童数	388	学級数	16
TEL	0243-39-2010	ホームページ	www.motomiya.gr.fks.ed.jp/index.php?page_id=51			

個に応じた指導方法の工夫・改善

1 少人数指導の計画等

- (1) 少人数教育を通して、一人一人に目が届くきめ細かな指導を行い、学年の発達や個人差に応じた指導を工夫し、個に応じた分かる授業の徹底に努め、基礎学力の向上を図る。
- (2) 少人数教育の学習について、保護者や地域への説明を行い、個に応じた学習指導における学校の方針や配慮事項について理解と協力を求める。
- (3) 望ましい集団づくりに努め、仲間意識の高揚、いじめ・不登校防止を図るため、生徒指導協議会及びいじめ防止対策委員会を開催し、児童の様子共通理解を図り、支援が必要な児童は全教職員で育てる意識をもつ。また、必要に応じてケース検討会を開催し、児童への指導法や接し方のよりよい方法や手立てを考え、全職員の共通理解に立って実践していくようにする。

2 実践の概要

(1) 個別指導

- 教材や資料を一人または二人を基本に準備して、個別に追究する場を保障している。
- 授業の終わりに学習の振り返りや自己評価を記入させることにより、次時につなげ意欲を高めている。



〔個別指導の様子〕

(2) グループ指導・学び合いによる指導

- 学習の結果をグループ内で比較させたり、学習のポイントや考えを共有させたりする場を設定している。



〔学び合いの様子〕

(3) 繰り返し指導

- ノート指導を充実させ、学習結果や考えをメモする習慣を付けさせている。
- 単元学習の中に定着確認シートやアシストシートに取り組む時間を位置付けて、学習内容の定着を図っている。

(4) 児童の興味・関心を高める指導

- 日常生活と学習内容を結び付け、課題づくりやまとめ・発展的な学習に意欲的に取り組めるようにする。

(5) コース別指導

- 学年をコース別に分け、担任外や管理職が各コースを受け持つことにより、個の実態に応じたきめ細かな指導を行っている。

(6) 地域の人材や資料等の活用

- 地域の人材や資料等を生かして、体験的学習に役立てている。

(7) 望ましい集団づくり

- 学級活動等特別活動の授業を生かして子ども達の意識を高め、自己存在感や自己有用感を高めている。また、相談箱を設置して、全職員で早期対応することにより、生徒指導上の問題やいじめ等を未然に防止している。



〔相談箱〕

3 実践の成果と課題

(1) 個別指導

- 個別の学習を保障することにより、理解を深めることができた。少人数学級担当教員の学級の学力テストの偏差値は、全国平均を上回っていた。

- 一人一人の振り返りや自己評価から、児童の興味・関心度や学習理解度を把握するとともに、次時の意図的指名や個別指導に役立てることができた。教師の朱書により、さらに意欲の喚起を図ることができた。

(2) グループ指導・学び合いによる指導

- 成果の出ている学年もあるが、発達段階に応じて学校全体で取り組んでいく必要がある。

(3) 繰り返し指導

- 定着確認シートの活用により、学習内容の定着と教師の指導の在り方について振り返ることができている。

(4) 児童の興味・関心を高める指導

- 児童が日常生活やテレビ・新聞等で得た情報を踏まえて、学んだことを活用・応用することが将来の自分に役立つことを実感させていきたい。

(5) コース別指導

- 学校全体で、組織的に児童を指導していくことにより、教師同士の情報や学習指導・学び方等を共有でき、個に応じた効果的な指導ができた。さらには、中学校への引継ぎを確実なものにして、スムーズな移行へつなげていきたい。

(6) 地域の人材や資料等の活用

- 地域の伝統文化遺産を道德のオリジナル資料として作成したり、様々な分野の方からゲストティーチャーとして指導いただいたりすることにより、地域に密着したより専門的な学習をすることができた。



(7) 望ましい集団づくり

- 自ら考えて、場に応じた言動ができる児童が増えてきている。学級での学習態度も落ち着き、少しずつ学習意欲が高まってきている。今のところ、不登校やいじめも発生していない。相談箱は、児童が気軽に相談でき、すぐに対応してもらえるため、安心を支える一つの材料となっている。

〔地域の人材を活用した学習〕